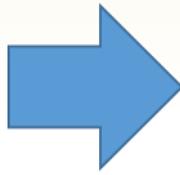


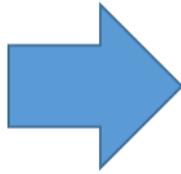


図書館HPをリニューアルしました!

<PC画面>



<スマートフォン画面>



追加
機能



図書館HP(OPAC)で**国内論文の検索(CiNii Research)**ができます!
検索結果一覧画面の上部のタブをクリックすると表示されます。
※外国論文の検索は外部データベース(Scopus等)をご利用ください。

- HPリニューアル 1
- 講習会案内 / オープンアクセスウィーク案内 2
- 図書館Topic: オープンアクセス(OA)のこれまでと現在 3
- 図書館からのお知らせ / 編集後記 4

講習会申込受付中

中央図書館では、CiNii ResearchやScopusを利用した論文収集講習会を常時受け付けております。論文を読んでみたい学部1年生から研究を開始する3年生・4年生、大学院生や教員の方まで、皆様の要望に合わせて図書館職員が案内します。

論文の探し方から入手方法まで、実際に操作しながら丁寧な解説しますので御利用ください。

講習会の申し込み・ご相談はメール
(libkikaku@jimu.akita-u.ac.jp)

またはこちらのフォームから→



<https://forms.gle/58Dc6a2WY8iqPQ8e9>

11月の講習会開催予定 (16:10~17:00)

<CiNii Research (国内論文)>

対面：11月8日(火)

zoom：11月10日(木)

<Scopus (国外論文)>

対面：11月15日(火)

zoom：11月17日(木)

※別途、個別にも対応いたしますので、
随時ご相談ください。

オープンアクセスウィーク開催



オープンアクセスウィークとは、2008年にアメリカの学術情報流通推進委員会 (SPARC) と学生コミュニティによってオープンアクセスデーとして立ち上がり、翌年からオープンアクセスウィークとして毎年10月に開催されているイベントです。2022年は“Open for Climate Justice” 「気候正義のためのオープンデータ」と題して、10月24日から30日まで世界各地でオープンアクセス関連のイベントが行われます。

図書館では「秋田大学学術情報リポジトリ (AIR)」を通して秋田大学の学術研究成果・教育成果を公開しており、例年このイベントに合わせ、研究者の皆様に研究成果のご提供をお願いしております。

学術雑誌掲載論文でも著者最終稿やオープンアクセス論文など、出版社が登録を認めているものであれば、AIRに登録が可能です。登録することで全世界に研究成果を発信でき、引用される可能性が高くなる等のメリットがあります。

研究者の皆様の研究成果のご提供をお待ちしております。

秋田大学学術情報リポジトリ (AIR) 登録案内

→<https://www.lib.akita-u.ac.jp/top/ja/node/42>



研究者の皆さんにとって、論文とは自らの研究成果発表の場であり、評価・研究資金の配分などに関わる重要なものかと思えます。この論文をインターネットから無料で入手でき、誰でも制限なくアクセスできるようにするという発想は1990年代には生まれており、**オープンアクセス (OA)** という用語によって一般に定着したのは2002年の「ブダペスト宣言」以降と言われています。今年、宣言から20年となる節目にOAのこれまでと現在の状況を紹介したいと思います。

OAの考えが生まれ、推進されてきた要因として3つの背景があります。1つ目は学術論文が持つ特殊性を原因とした雑誌価格の高騰、2つ目はインターネットの普及、3つ目は公的資金使用について一般市民へ説明責任の発生です。論文を執筆される方はご承知だと思いますが、論文は替えが効かないものですから、A論文は料金が高いから安く読めるB論文を読もうというわけにはいきません。これにより価格競争が働かず雑誌価格は毎年上昇し続けています（投稿論文数の増加も価格上昇の要因ではあります）。この状況にはいつかは耐えられなくなると容易に想像されましたので、当時急速に普及していたインターネットを介して論文を公開するという動きが生まれ、機関リポジトリと呼ばれる各機関が運用するサーバの設置が進みました。また、公的資金を使用した研究成果は研究者同士だけでなく市民へも提供すべきだとの考える人が増えたこともOAを推し進める要因となり、欧米では2005年ころから研究助成対象に対する論文のオープンアクセス義務化が進められるようになりました。制定されたOAポリシー数は2005年の125から2014年には648、2021年には1077まで増えています¹。

OAの実現手段には2つ方法があります。1つは、機関リポジトリ等に著者自ら論文を登録して公開する「**グリーンOA**」。もう1つが、出版社に論文掲載料を支払い公開する「**ゴールドOA**」です。「**グリーン**」には、著者に金銭的な負担が無く公開できるというメリットがありますが、論文掲載後、一定期間公開できない条件が付くなどといったデメリットがあります。それとは逆に「**ゴールド**」には、最新の論文を公開できるというメリットがありますが、APC (Article Processing Charge : 論文掲載料) と呼ばれる金銭的な負担が発生します。当初はオープンアクセスに否定的だった大手出版社もAPCを得られることから2010年ころからゴールドOAジャーナルを出すようになりました。しかしながら、一部の出版社ではより多くの論文掲載料を得るために、少ないチェックで早く世に出すのを優先するという方向に傾く場合があり、その極端なものをハゲタカジャーナルと呼びます。

次に日本の「**グリーン**」と「**ゴールド**」OAの状況について紹介します。まず「**グリーン**」ですが、日本の機関リポジトリの設置数は838あり、約27万件もの論文を閲覧可能としています（2022年3月現在）²。登録されている種類の内訳は、紀要論文が半数を占め、学術雑誌論文は21%程度となっています³。附属図書館では、2008年3月から秋田大学学術情報リポジトリAIR (Akita university Institutional Repository system) を運用し、「**グリーンOA**」を可能としています。登録論文数は5,037件あり（2022年3月末現在）、ダウンロードは一年間で263,976回されていました。登録対象となるのは、本学に在籍、または在籍したことのある教職員・学生が執筆した、学術論文、学位論文（博士学位論文、修士論文）、教育資料（講義資料、講演記録など）、各種報告書（研究成果報告書、調査報告書など）、その他（著作図書、制作物など）です。公開希望の論文等がありましたら、図書館HPに案内がありますのでご参照ください。「**ゴールド**」については、近年各出版社からさまざまなプランが提案されています。なかでも、Wiley社と東北大学、東京工業大学、総合研究大学院大学、東京理科大学の4大学は転換契約と呼ばれる契約を結び、積極的にOAを推進しようとしています。転換契約とは、学術出版のビジネスモデルを購読料に基づくモデルから、OA出版 (APC) に基づくモデルへと転換しようとする過渡的なモデルです。将来的にフルOA化が実現した場合、APCのみでの論文閲覧が可能となります。

<参考文献>

- 「平成28年度大学図書館シンポジウム「10年後の大学図書館を考える：オープンアクセス時代の大学図書館の新たな役割」報告」『大学図書館研究』110号、2018
- 「機関リポジトリによるオープンアクセス進捗率の因果分析」『情報知識学会誌』Vol.31 No.1、2021

1 <https://roarmap.eprints.org/>

2 <https://www.nii.ac.jp/irp/archive/statistic/>

3 <https://irdb.nii.ac.jp/statistics/all>

図書館からのお知らせ

◆ コンセント設置工事を行いました(中央図書館)

中央図書館2階の閲覧席について、これまで座席によってコンセントのある席と無い席がありましたが、今回、Eエリアを除くすべての座席にコンセントを設置しました。

学習・研究にご活用ください。



◆ 蔵書点検を実施しました(中央図書館・医学図書館)

附属図書館では、所蔵資料の適切な管理の為、毎年蔵書点検を実施しています。今年度は下記の日程で蔵書点検を行いました。

・ **中央図書館:8月23日(火)~25日(木)**
→参考図書・大型図書・北方教育資料を中心に
図書約63,000冊を点検

・ **医学図書館:8月9日(火)~10日(水)**
→全館を対象に図書約42,000冊を点検

点検後、附属図書館では誤配架されていた資料の整理やデータの修正、破損資料の修理、配架位置の検討など、より利用しやすい図書館を目指して整備を進めています。点検期間中は作業に伴う休館や、利用エリアの制限等、利用者の皆様には大変ご不便をお掛けしました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

本学教職員等 著作寄贈図書

本学の教員が著し、寄贈いただいた資料です。中央図書館2階に配架しております。

書名	著者名	請求記号
特定非営利活動法人依存学推進協議会研究助成プログラム:研究成果報告書 第2号	鈴木翔 (p.1~10)	493.74 Su96
コメディ・オヴ・マナーズの系譜:王政復古期から現代イギリス文学まで	佐々木和貴(教育文化学部) 共著	930.2 Ta77
Overseas language diffusion and the "localist" approach	市嶋典子(高等教育グローバルセンター) 分担執筆	801 H56
Laut sama direnangi : a festschrift for James T. Collins	Horton William Bradley 分担執筆	801 C22
秋田県藤里町における社会的包摂の取り組みに関する研究調査報告:研究課題:地域コミュニティに基盤を置いた社会的包摂と包括的キャリア教育に関する研究(科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告)	小池孝範(教育文化学部)	377.7 秋田大 0287
日本仏教教育の戦前と戦後の連続性と非連続性:宗教教育の公共性に向けて(科学研究費助成金(基盤研究(C))研究成果報告書)	小池孝範(教育文化学部) 分担執筆	377.7 秋田大 0288

編集後記

すっかり秋が深まり、サイクリングに絶好の季節がやってきました。みなさんライドオンしていますか!夏の日差しの中を汗をかきかきペダルを回し続けるというのもいいですが、体温調整がしやすく、紅葉も楽しめる今時分がやはりベストシーズンですよ。

さて、記録的な水準の円安や東欧での戦争により、様々な分野で影響が出ています。図書館関連では、海外資料の価格高騰や入荷遅れが発生しています。電子ブックや電子ジャーナルがだいぶ浸透しておりますので、入荷時期の影響は抑えられるのですが、価格はいかんともしがたく頭が痛い問題です。

明るい話題としては、図書館情報システムが5年ぶりの更新となり、ホームページのデザインをリニューアルできました。新ホームページでは、全国の論文検索ができるようになり利便性が大幅に向上しました。ぜひご覧ください。

Library News しゅんと!

No. 22 令和4年10月28日 発行

編集・発行 ■ 秋田大学附属図書館

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

中央図書館

医学図書館

TEL : 018-889-2279

TEL : 018-884-6052

FAX : 018-832-4917

FAX : 018-884-6252

MAIL: libriyo@jimu.akita-u.ac.jp

MAIL: ibun@jimu.akita-u.ac.jp